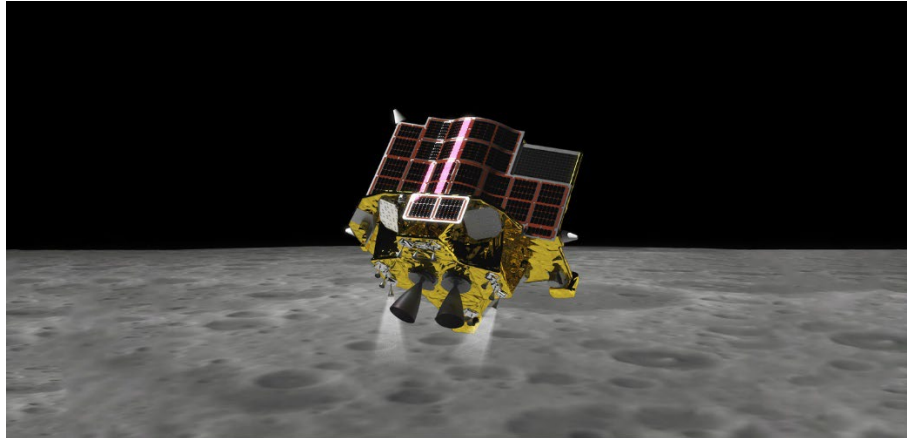


2024年1月20日
三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

日本初、小型月着陸実証機「SLIM」が月面に着陸
三菱電機が着陸機システムの開発および軌道上運用支援を担当



SLIM のイメージ図
©JAXA

三菱電機株式会社は、宇宙航空研究開発機構（以下 JAXA）から受注し、全体のシステム開発を担当した小型月着陸実証機（Smart Lander for Investigating Moon、以下 SLIM）に関して、1月20日午前0時20分（日本時間）に月面への着陸が確認されたことをお知らせします。今回の SLIM による月面着陸は日本初であり、旧ソ連、米国、中国、インドに続く、世界で5カ国目となります。

SLIM プロジェクトは、①小型の探査機による月への高精度着陸技術の実証、②軽量の月惑星探査機システムの実現による月惑星探査の高頻度化、の2つを目的としており、SLIM は、そのために開発された小型の探査機で、2023年9月7日に H-IIA ロケットによって打ち上げられました。

SLIM の開発成果は今後の月惑星探査の基盤となるものであり、今回の着陸により、月惑星探査の更なる進展が期待されています。

SLIM プロジェクトにおける三菱電機グループの担当領域

三菱電機は2015年度に SLIM のシステム開発を JAXA から受注し、主に鎌倉製作所（神奈川県鎌倉市）で SLIM 全体の設計・製造・試験を担当してきました。また、SLIM を構成する以下の搭載機器等について、当社と当社子会社である三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジーズ株式会社（以下 MEDS）が開発しました。

1. SLIM のシステム開発、製造および軌道上での運用支援
2. SLIM 構成の搭載機器
 - (1) 着陸レーダー（アンテナと計装系は当社、電気ユニットは MEDS が開発担当）
 - (2) 統合化計算機および搭載ソフトウェア
 - (3) 通信系機器（Sバンドトランスポンダ・Sバンドダイプレクサ・Sバンドアンテナは当社、Sバンドハイブリッドは MEDS が開発担当）
 - (4) 電力制御分配器（MEDS が開発担当）

三菱電機の宇宙事業について

三菱電機は、JAXA が推進する国内衛星開発プロジェクトの半数近くに主契約者として参画し、日本の宇宙開発におけるリーディングカンパニーの地位を築いてきました。1970 年代末からは航法誘導制御技術の研究開発を実施し、SFU^{※1}、ETS-VII^{※2}、HTV^{※3}といったプロジェクトを通じて蓄積した航法誘導制御技術が SLIM につながっています。

今後も三菱電機は保有する先端技術の更なる強化を図り、国際協力で推進されているアルテミス計画等への参画を通じて、持続的な宇宙探査活動の確立や人類の活動領域の拡大等に貢献していきます。

お問い合わせ先

<報道関係からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 広報部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431

<お客様からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 防衛・宇宙システム事業本部 宇宙システム事業部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/society/space/>

※1 SFU : Space Flyer Unit (宇宙実験・観測フリーフライヤ)

※2 ETS-VII : Engineering Test Satellite-VII (技術試験衛星 VII 型「きく 7 号」)

※3 HTV : H-II Transfer Vehicle (宇宙ステーション補給機「こうのとり」)